

平戸市総合戦略の進捗に係る アンケート調査報告書

最終調査

令和元年6月

長崎県 平戸市

～ 目次 ～

第1章 調査概要

- 1 調査の目的 1
- 2 調査の設計 1

第2章 調査内容

- 1 調査回答者の属性 2
- 2 調査結果 3～10

1 調査の目的

平成27年度に策定した平戸市総合戦略に掲げる、各事業の実施によってもたらされた、市民満足度を把握するための基礎資料にすることを目的とする。

2 調査の設計

調査は、令和元年4月に実施し、調査方法等は下表の通りである。

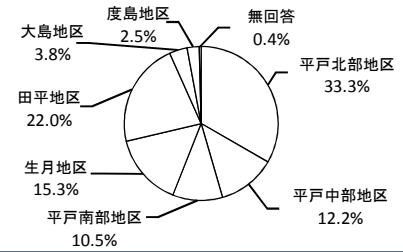
調査	今回調査（最終） 令和元年4月実施	前回調査（中間） 平成29年5月実施	前々回調査（当初） 平成27年8月実施
調査対象	平戸市在住の方を住民基本台帳から無作為抽出（20～59歳）	平戸市在住の方を住民基本台帳から無作為抽出（20～59歳）	平戸市在住の方住民基本台帳から無作為抽出（20～59歳）
調査方法	郵送法	郵送法	郵送法
配布数	3,000件	3,000件	2,500件
有効回答数	714件	691件	607件
有効回答率	23.8%	23.0%	24.3%

第2章 調査内容

1 調査回答者の属性

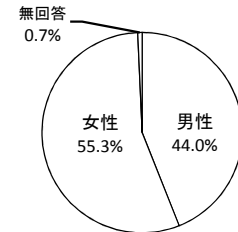
問1 居住地

区分	人数	割合	区分	人数	割合
平戸北部	238	33.3%	田平地区	157	22.0%
平戸中部	87	12.2%	大島地区	27	3.8%
平戸南部	75	10.5%	度島地区	18	2.5%
生月地区	109	15.3%	無回答	3	0.4%



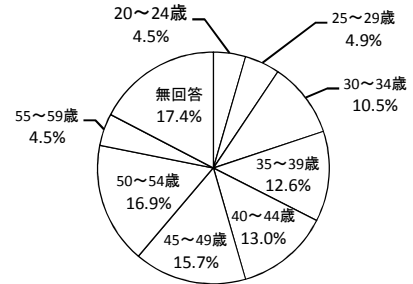
問2 性別

区分	人数	割合
男性	314	44.0%
女性	395	55.3%
無回答	5	0.7%



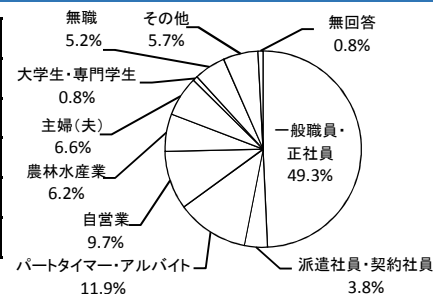
問3 年齢

区分	人数	割合	区分	人数	割合
20-24	32	4.5%	45-49	112	15.7%
25-29	35	4.9%	50-54	121	16.9%
30-34	75	10.5%	55-59	32	4.5%
35-39	90	12.6%	無回答	124	17.4%
40-44	93	13.0%			



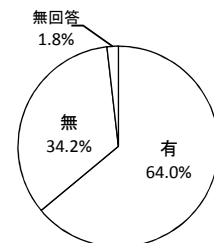
問4 職業

区分	人数	割合	区分	人数	割合
一般職員・正社員	352	49.3%	主婦(夫)	47	6.6%
派遣・契約社員	27	3.8%	大学・専門学生	6	0.8%
パート・アルバイト	85	11.9%	無職	37	5.2%
自営業	69	9.7%	その他	41	5.7%
農林水産業	44	6.2%	無回答	6	0.8%



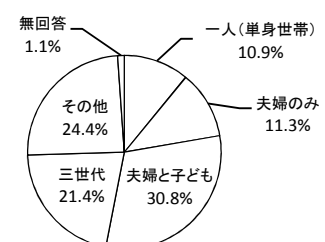
問5 配偶者の有無

区分	人数	割合
有	457	64.0%
無	244	34.2%
無回答	13	1.8%



問6 世帯構成

区分	人数	割合	区分	人数	割合
一人世帯(単身世帯)	78	10.9%	三世帯	153	21.4%
夫婦のみ	81	11.3%	その他	174	24.4%
夫婦と子ども	220	30.8%	無回答	8	1.1%

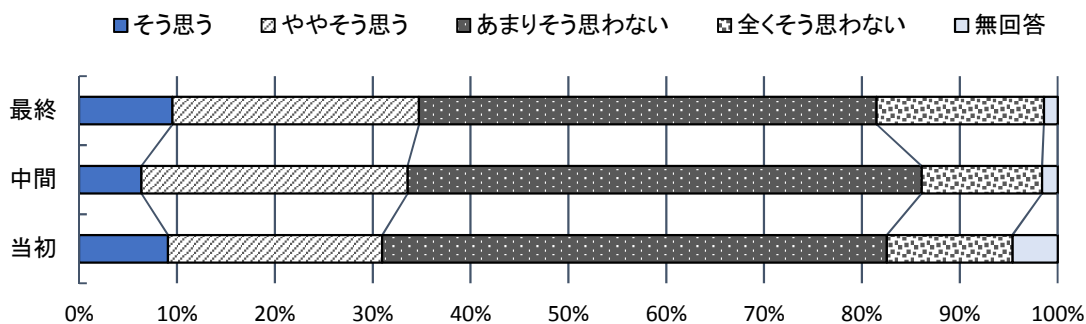


2 調査結果

問7 現在の平戸市は働き続けることができる環境にあると思いますか

「そう思う」「ややそう思う」の合計が34.7%となり、中間調査とほぼ同程度となった。また、「全くそう思わない」の回答が中間調査から4.8ポイント上昇した。

項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答
令和元年度 最終調査	9.5%	25.2%	46.8%	17.1%	1.4%
平成29年度 中間調査	6.4%	27.2%	52.5%	12.3%	1.6%
平成27年度 計画当初	9.1%	21.9%	51.6%	12.9%	4.6%



問7-1 「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の理由

(多かった主な理由)

仕事(職種)が少ない。・・・280件

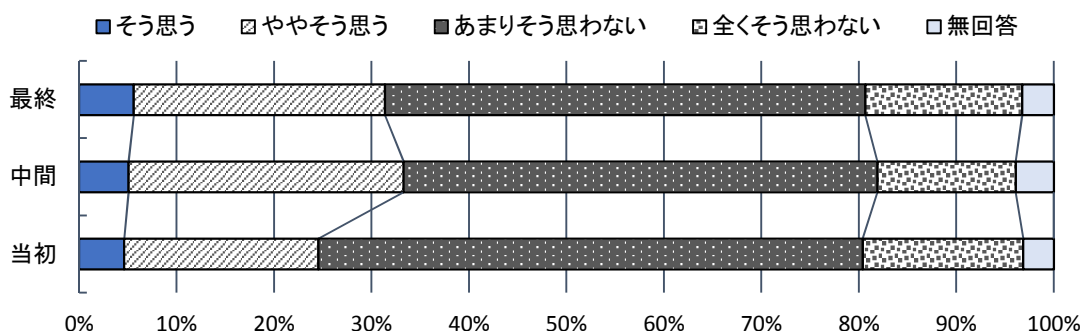
賃金が安い。・・・103件

魅力ある職場(職場環境、福利厚生)がない。・・・37件

問8 現在、平戸市は安心して結婚・妊娠・出産できるような環境・社会であると思いますか

「そう思う」「ややそう思う」の合計が、平成29年度中間調査の33.3%から31.4%となり、1.9ポイント減少した。また、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の合計についても、中間調査の62.8%から65.4%になり、2.6ポイント上昇する結果となっている。

項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答
令和元年度 最終調査	5.6%	25.8%	49.3%	16.1%	3.2%
平成29年度 中間調査	5.1%	28.2%	48.6%	14.2%	3.9%
平成27年度 計画当初	4.6%	19.9%	55.8%	16.5%	3.1%

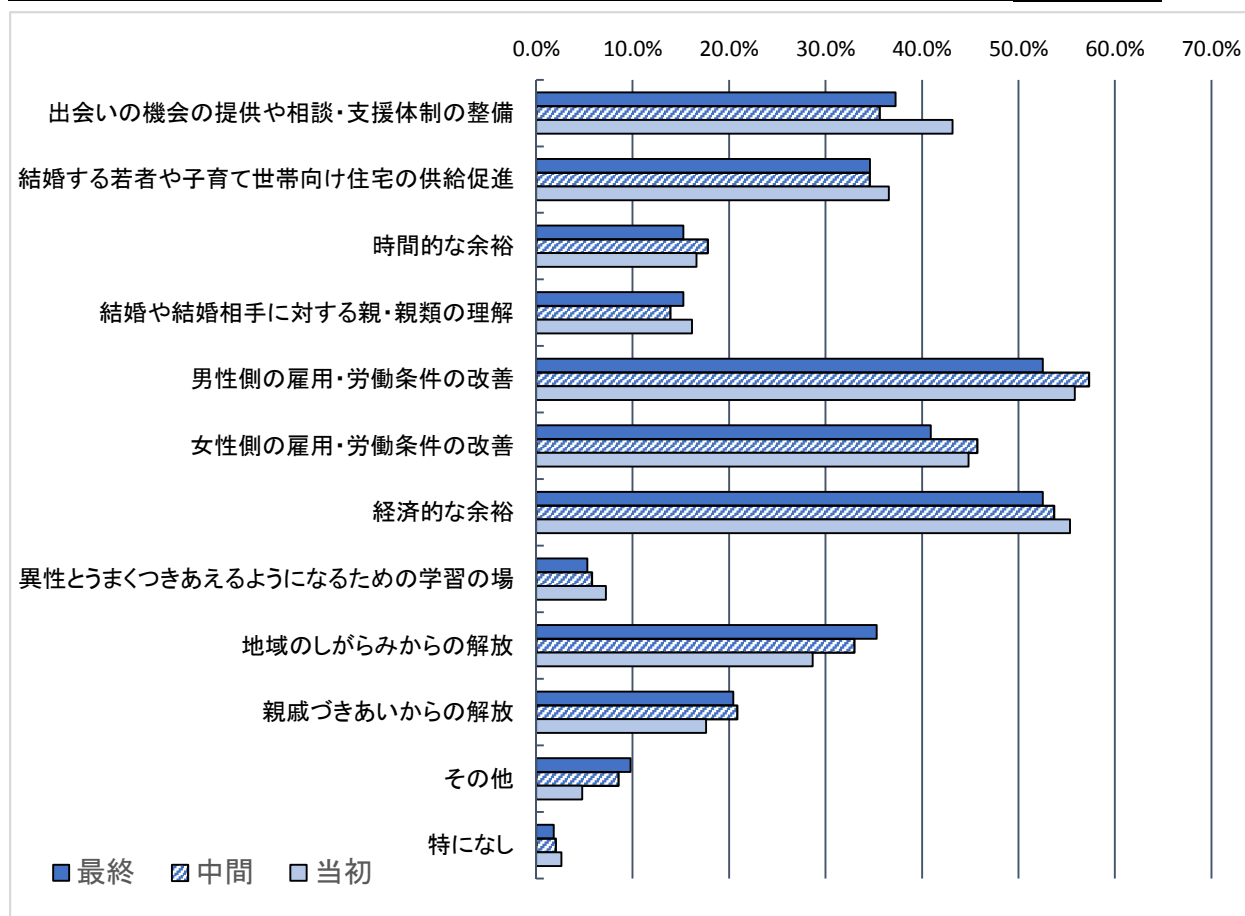


第2章 調査内容

問9 平戸市に住んでいる人が結婚するために必要な環境はどのようなことだと思いますか

計画当初及び中間調査と同様に「男性側の雇用・労働条件の改善」と「経済的な余裕」が多い回答となっている。また、「地域のしがらみからの解放」については、増加傾向にある。

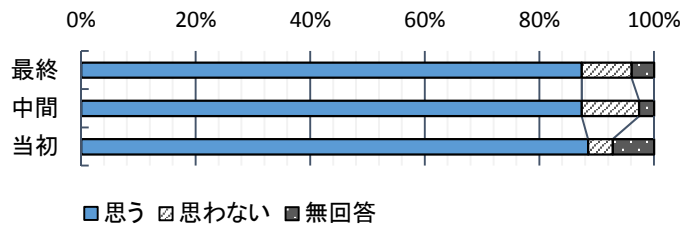
項目	計画当初	中間調査	最終調査
出会いの機会の提供や相談・支援体制の整備	43.2%	35.6%	37.3%
結婚する若者や子育て世帯向け住宅の供給促進	36.6%	34.6%	34.6%
時間的な余裕	16.6%	17.8%	15.3%
結婚や結婚相手に対する親・親類の理解	16.1%	13.9%	15.3%
男性側の雇用・労働条件の改善	55.8%	57.3%	52.5%
女性側の雇用・労働条件の改善	44.8%	45.7%	40.9%
経済的な余裕	55.4%	53.7%	52.5%
異性とうまくつきあえるようになるための学習の場	7.2%	5.8%	5.3%
地域のしがらみからの解放	28.7%	33.0%	35.3%
親戚づきあいからの解放	17.6%	20.8%	20.4%
その他	4.8%	8.5%	9.8%
特になし	2.6%	2.0%	1.8%



問10 子育てをしていく上で経済的負担は大きいと思いますか

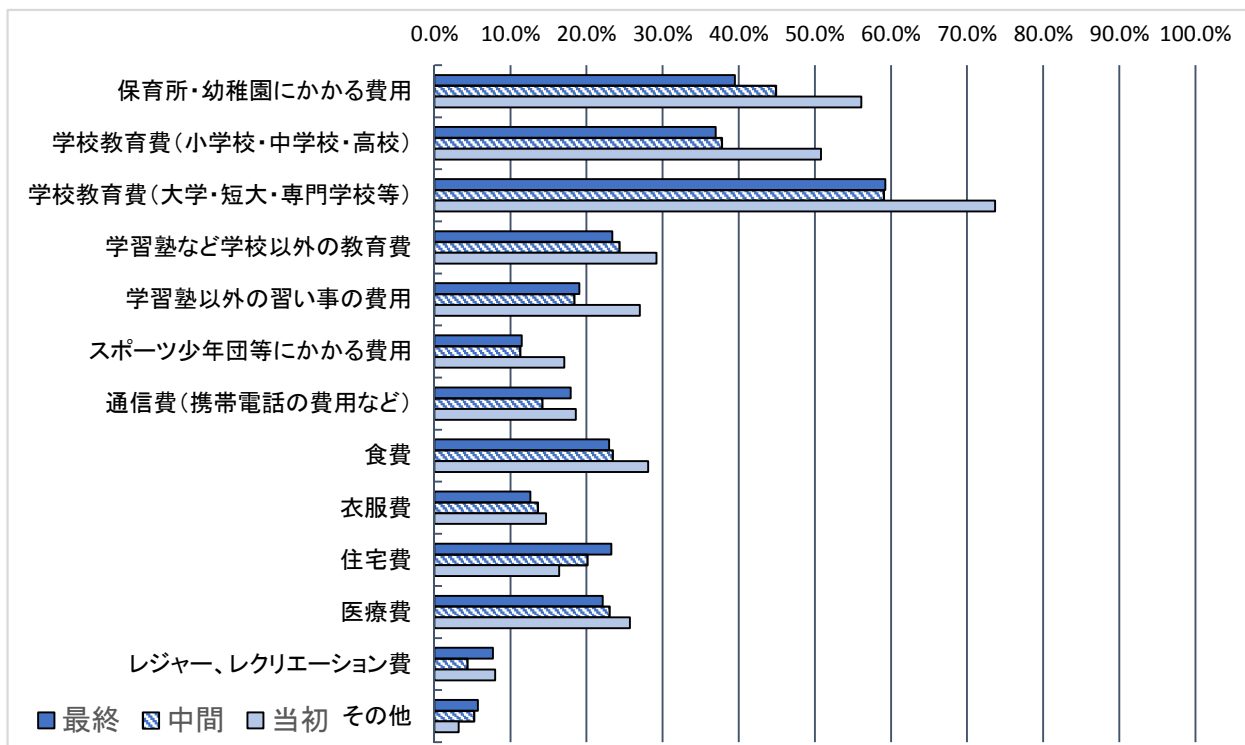
計画当初及び中間調査と同様に「思う」の回答が85%以上と多い回答となっている。また、負担として大きいと思われる上位3項目については、計画当初と比較すると大きく減少する結果となっている。

項目	思う	思わない	無回答
最終調査	87.4%	8.7%	3.9%
中間調査	87.4%	10.0%	2.6%
計画当初	88.5%	4.3%	7.2%



問10-1 負担として大きいと思われるものは

項目	計画当初	中間調査	最終調査
保育所・幼稚園にかかる費用	56.1%	44.9%	39.5%
学校教育費（小学校・中学校・高校）	50.8%	37.8%	37.0%
学校教育費（大学・短大・専門学校等）	73.7%	59.0%	59.2%
学習塾など学校以外の教育費	29.2%	24.3%	23.4%
学習塾以外の習い事の費用	27.0%	18.4%	19.0%
スポーツ少年団等にかかる費用	17.1%	11.3%	11.5%
通信費（携帯電話の費用など）	18.6%	14.2%	17.9%
食費	28.1%	23.4%	23.0%
衣服費	14.7%	13.6%	12.6%
住宅費	16.4%	20.1%	23.2%
医療費	25.7%	23.0%	22.1%
レジャー、レクリエーション費	8.0%	4.3%	7.7%
その他	3.2%	5.2%	5.7%

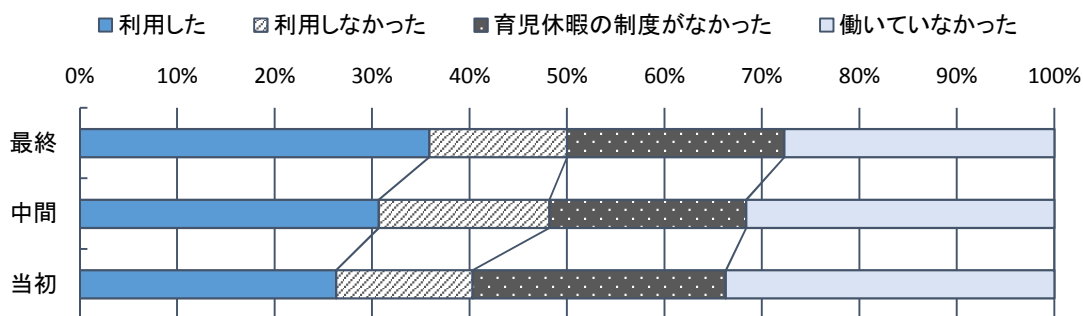


第2章 調査内容

問11 母親の育児休業（休暇）の取得の有無

「利用した」が、中間調査の30.7%から35.9%となり、5.2ポイント上昇した。また、「利用しなかった」が、中間調査の17.5%から14.1%で3.4ポイント減少した結果となっている。

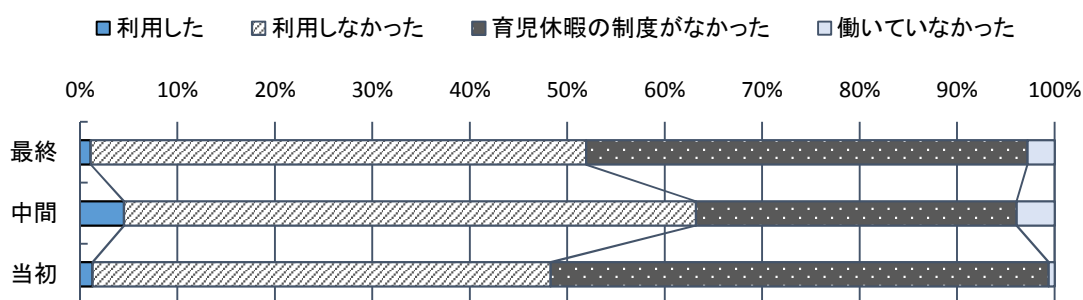
項目	利用した	利用しなかった	育児休業の制度がなかった	働いていなかった
令和元年度 最終調査	35.9%	14.1%	22.3%	27.7%
平成29年度 中間調査	30.7%	17.5%	20.2%	31.6%
平成27年度 計画当初	26.3%	14.0%	26.0%	33.7%



問12 父親の育児休業（休暇）の取得の有無

「利用した」が、中間調査の4.5%から1.1%となり、3.4ポイント減少した。また、「利用しなかった」が、中間調査の58.7%から50.8%となり7.9ポイント減少した結果となっている。

項目	利用した	利用しなかった	育児休業の制度がなかった	働いていなかった
令和元年度 最終調査	1.1%	50.8%	45.3%	2.8%
平成29年度 中間調査	4.5%	58.7%	32.9%	3.9%
平成27年度 計画当初	1.3%	47.0%	51.1%	0.6%



問13 1日に家事や育児にどれくらいの時間携わっていますか（未就学児の子供を持つ父親）

区分	中間調査	最終調査
30分未満	10.3%	14.1%
30分～1時間未満	11.5%	16.2%
1時間～2時間未満	14.1%	5.1%
2時間以上	64.1%	64.6%

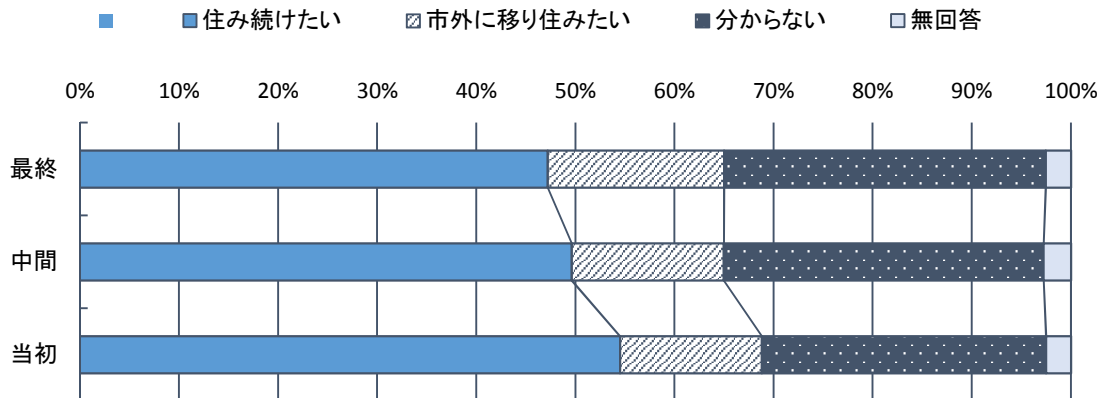
そのうち育児にどれくらいの時間携わっていますか

区分	中間調査	最終調査
30分未満	9.0%	10.4%
30分～1時間未満	9.0%	14.6%
1時間～2時間未満	29.5%	25.0%
2時間以上	47.4%	47.9%
無回答	5.1%	2.1%

問14 これからも平戸市に住み続けたいと思いますか

「住み続けたい」が、中間調査の49.6%から47.2%となり、2.4ポイント減少した。また、「市外に移り住みたい」が、中間調査の15.3%から17.8%となり、2.5ポイント上昇した結果となっている。

項目	住み続けたい	市外に移り住みたい	分からない	無回答
令和元年度 最終調査	47.2%	17.8%	32.5%	2.5%
平成29年度 中間調査	49.6%	15.3%	32.3%	2.7%
平成27年度 計画当初	54.5%	14.3%	28.7%	2.5%



問15 住みたい・住み続けたいと実感できる市となるための重要度

中間調査では、「医療を受けるための環境の良さ」が75.1%と最も高く、次いで「子ども育てるための環境の良さ」の63.4%の順となっていたが、最終調査では、「働ける場所の豊富さ」が80.5%と最も高く、次いで「医療を受けるための環境の良さ」の73.8%となっている。

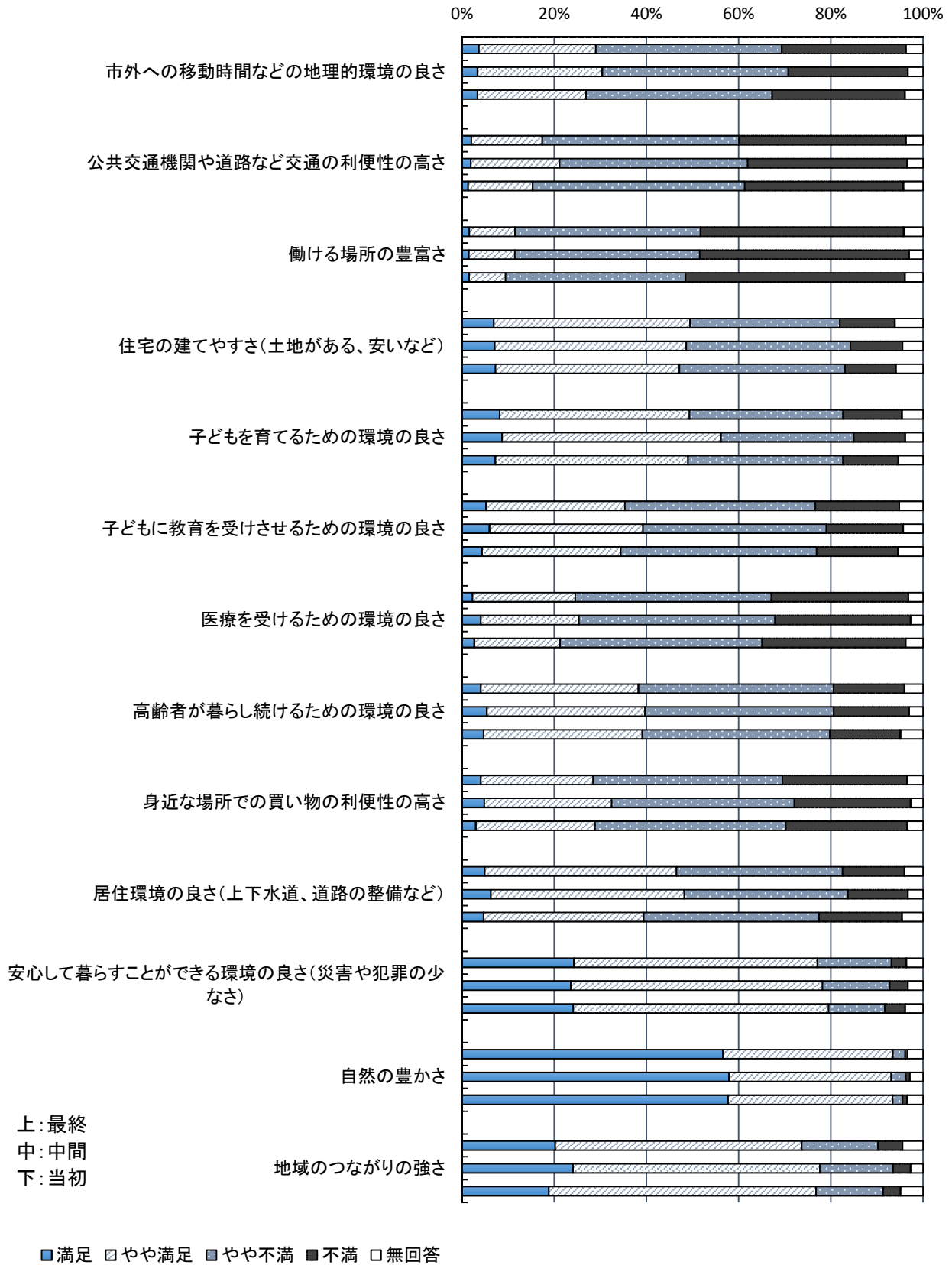
項目	重要	やや重要	あまり重要でない	重要ではない	無回答
市外への移動時間などの地理的環境の良さ	52.1%	31.8%	9.4%	2.7%	4.1%
公共交通機関や道路など交通の利便性の高さ	62.2%	25.8%	5.7%	1.8%	4.5%
働ける場所の豊富さ	80.5%	13.7%	2.0%	0.1%	3.6%
住宅の建てやすさ（土地がある、安いなど）	39.2%	31.8%	20.9%	2.9%	5.2%
子どもを育てるための環境の良さ	62.5%	27.2%	4.8%	0.7%	4.9%
子どもに教育を受けさせるための環境の良さ	59.7%	29.6%	5.9%	0.6%	4.3%
医療を受けるための環境の良さ	73.8%	20.3%	2.4%	0.1%	3.4%
高齢者が暮らし続けるための環境の良さ	58.1%	28.9%	7.6%	1.5%	3.9%
身近な場所での買い物の利便性の高さ	62.0%	28.3%	5.6%	0.3%	3.8%
居住環境の良さ（上下水道、道路の整備など）	47.6%	37.7%	9.7%	0.7%	4.3%
安心して暮らすことができる環境の良さ（災害や犯罪の少なさ）	62.3%	26.9%	5.2%	1.1%	4.5%
自然の豊かさ	30.3%	38.9%	22.3%	4.2%	4.3%
地域のつながりの強さ	17.5%	44.1%	27.2%	6.6%	4.6%
故郷への愛着	25.5%	39.6%	22.8%	7.6%	4.5%
親族（親など）が住んでいること	20.7%	40.8%	26.2%	8.1%	4.2%
友人・知人が住んでいること	25.2%	42.3%	23.0%	5.6%	3.9%

第2章 調査内容

問16 現在の平戸市における満足度

満足とやや満足では「自然の豊かさ」が93.4%と最も高く、次いで「安心して暮らすことができる環境の良さ」の77.0%の順となっている。反対に不満とやや不満では「働ける場所の豊富さ」が今回84.3%と最も高く、次いで、「公共交通機関の利便性」の78.9%の順となっている。

項目		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
市外への移動時間などの地理的環境の良さ	最終	3.6%	25.4%	40.3%	26.9%	3.8%
	中間	3.3%	27.1%	40.4%	25.9%	3.3%
	当初	3.3%	23.6%	40.4%	28.8%	4.0%
公共交通機関や道路など交通の利便性の高さ	最終	2.0%	15.4%	42.7%	36.1%	3.8%
	中間	1.9%	19.2%	40.8%	34.6%	3.5%
	当初	1.3%	14.0%	46.0%	34.4%	4.3%
働ける場所の豊富さ	最終	1.5%	9.9%	40.2%	44.1%	4.2%
	中間	1.4%	10.0%	40.1%	45.4%	3.0%
	当初	1.3%	6.8%	33.7%	41.1%	3.4%
住宅の建てやすさ（土地がある、安いなど）	最終	6.9%	42.6%	32.5%	11.9%	6.2%
	中間	7.1%	41.5%	35.6%	11.3%	4.5%
	当初	6.3%	34.4%	31.0%	9.5%	5.1%
子どもを育てるための環境の良さ	最終	8.1%	41.2%	33.3%	12.7%	4.6%
	中間	8.7%	47.5%	28.8%	11.1%	3.9%
	当初	7.2%	41.8%	33.6%	12.0%	5.4%
子どもに教育を受けさせるための環境の良さ	最終	5.2%	30.1%	41.3%	18.2%	5.2%
	中間	5.9%	33.3%	39.8%	16.6%	4.3%
	当初	4.3%	30.1%	42.5%	17.6%	5.5%
医療を受けるための環境の良さ	最終	2.2%	22.3%	42.6%	29.7%	3.2%
	中間	4.1%	21.3%	42.5%	29.4%	2.7%
	当初	2.3%	16.1%	37.8%	26.9%	3.3%
高齢者が暮らし続けるための環境の良さ	最終	4.1%	34.2%	42.3%	15.4%	4.1%
	中間	5.4%	34.3%	41.0%	16.4%	3.0%
	当初	4.0%	29.7%	35.1%	13.2%	4.3%
身近な場所での買い物の利便性の高さ	最終	4.1%	24.4%	41.0%	27.0%	3.5%
	中間	4.8%	27.6%	39.7%	25.2%	2.7%
	当初	2.6%	22.3%	35.7%	22.7%	3.0%
居住環境の良さ（上下水道、道路の整備など）	最終	4.9%	41.6%	36.0%	13.4%	4.1%
	中間	6.2%	42.0%	35.5%	13.0%	3.3%
	当初	4.0%	30.0%	32.8%	15.5%	4.0%
安心して暮らすことができる環境の良さ（災害や犯罪の少なさ）	最終	24.2%	52.8%	16.1%	3.2%	3.6%
	中間	23.6%	54.6%	14.6%	3.9%	3.3%
	当初	24.1%	55.4%	12.2%	4.4%	3.9%
自然の豊かさ	最終	56.6%	36.8%	2.7%	0.6%	3.4%
	中間	57.9%	35.2%	3.2%	0.9%	2.9%
	当初	57.7%	35.7%	2.1%	1.0%	3.5%
地域のつながりの強さ	最終	20.2%	53.5%	16.5%	5.3%	4.5%
	中間	24.0%	53.6%	15.9%	3.8%	2.6%
	当初	18.8%	58.0%	14.5%	3.8%	4.9%



第2章 調査内容

問17 「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができていると思いますか

「あまりできていない」が53.4%と中間調査とほぼ同様に最も大きい結果となっている。

項目	できている	ややできている	あまりできていない	全くできていない	無回答
令和元年度 最終調査	2.4%	27.6%	53.4%	10.5%	6.2%
平成29年度 中間調査	1.3%	30.8%	50.8%	7.4%	9.7%
平成27年度 計画当初	2.0%	27.2%	50.9%	8.4%	11.5%

